

同軸差動式スクリーブプレス脱水機

～処理場のLCC低減に貢献する次世代脱水機～

技術概要

日本下水道事業団 新技術 I 類に選定 (2025年3月)

〈技術名〉ダウンサイジング対応型同軸差動式スクリーブプレス脱水機

従来技術※と比較してスクリーン径あたりの処理速度を **1.5 倍以上に増加** でき、
機器の **ダウンサイジング** により、汚泥処理の **ライフサイクルコスト低減** が可能

※ JS機械設備標準仕様書「圧入式スクリーブプレス脱水機Ⅲ型」

概略フローと特徴

2段階の凝集プロセスにより
強固なフロックを形成

1)凝集部

2)濃縮部

楕円板レーキにより目詰まりせず汚泥を
高濃度(7~12%)まで濃縮し
脱水部での**十分な加圧時間を確保**

(無機凝集剤) 4)動力制御盤

・AIの運転支援機能(オプション)で
運転・監視業務の省力化

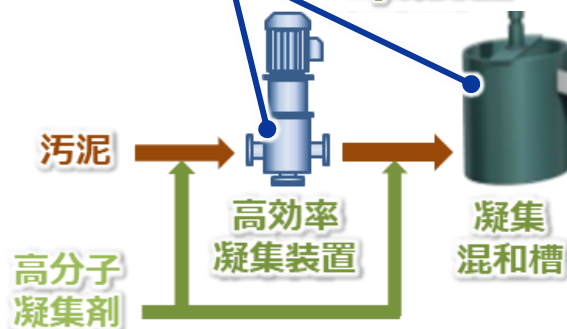
・**運転コスト最適化**を支援する

3つの運転モードを搭載

1) 含水率優先

2) 薬注率抑制

3) 運転コスト(トータル)削減



・**同一軸上の2つのスクリー軸構造**
により強い圧搾と円滑な排出を両立
・脱水性能を維持したまま、**処理速度を増大**

